

週間漁海況情報—第29号

平成28年7月26日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温

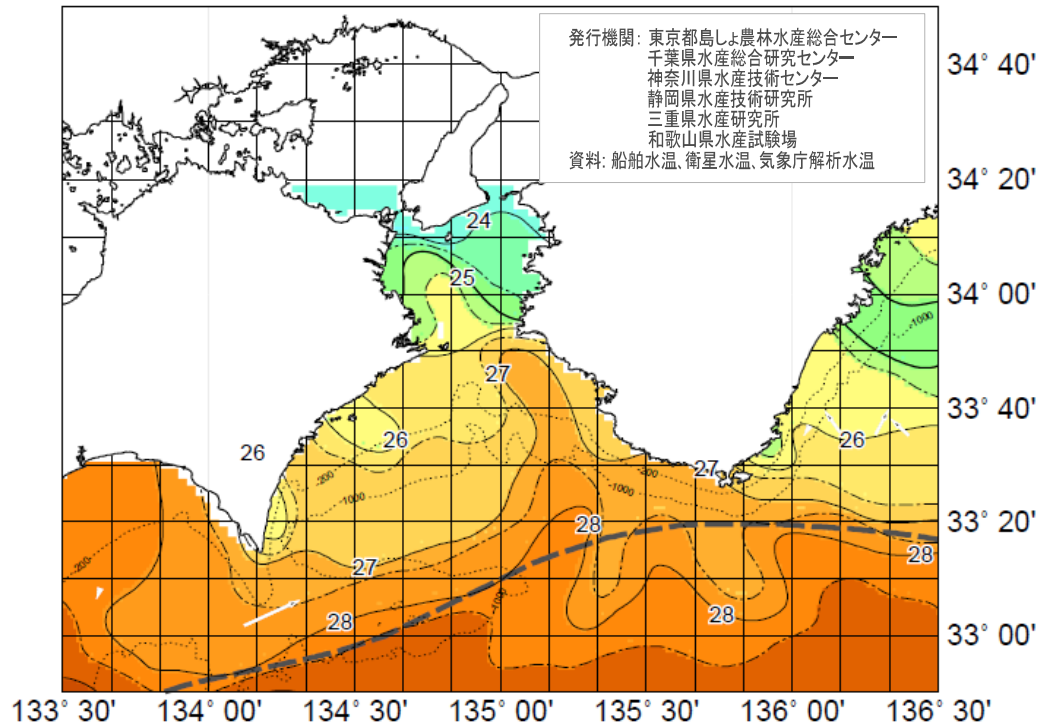
右に7月26日時点の海況図を示した。

黒潮は、室戸岬沖では先週の「接岸」から若干離れて「やや離岸」、潮岬沖では先週から引き続き「接岸」となっている。

黒潮本流の表面水温は、27℃台～29℃台である。

徳島沿岸の表面水温は播磨灘で23℃台、紀伊水道で24℃～25℃台、海部沿岸で25℃～27℃台である。

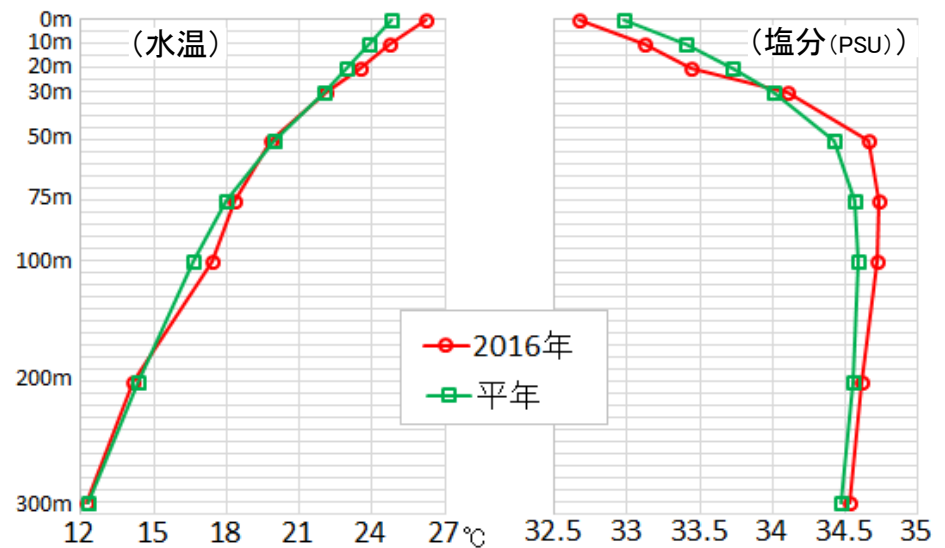
7月7日、19日、20日に海部沿岸でおこなった観測では、水温は20m以浅と水深100mでやや高め、塩分は20m以浅でやや低め、水深50mから100mでやや高めであった。



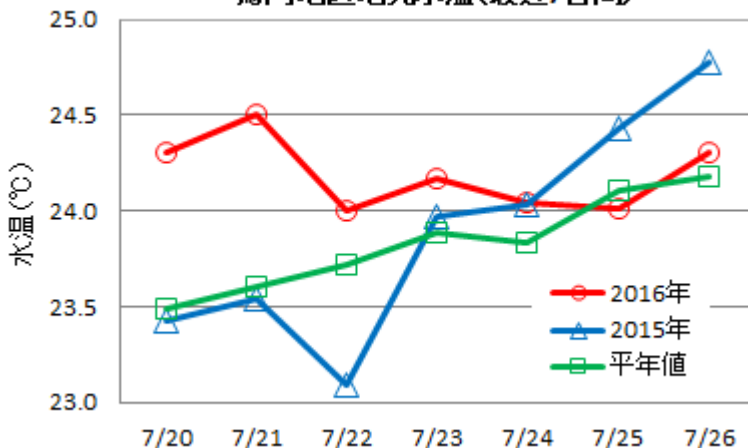
海部沿岸の観測結果

2. 地先水温

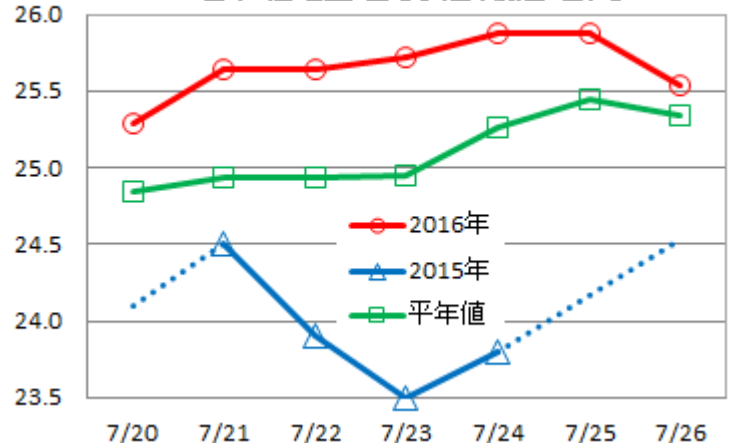
最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「平年並み」の24.0℃～24.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の25.3℃～25.9℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の25.0℃～27.5℃であった。鳴門地区は横ばい、日和佐地区もほぼ横ばい、牟岐地区は前半の高めの状態から後半平年並みまで大きく下がった。



鳴門地区地先水温(最近7日間)



日和佐地区地先水温(最近7日間)



3. 週間予報

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも離岸傾向が予測され、「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の24℃台後半～25℃台、日和佐地区は「やや高め」の25℃台後半～26℃台で推移する見込み。

漁況 7月18日～7月24日

1. 紀伊水道(標本漁協:3)

全体の漁獲量は、船びき網の出漁日数減の影響により、大きく減った。

船びき網では、出漁1隻当たりの平均漁獲量はかわらないものの出漁日数が減ったため、シラスが大きく減って25.4ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが大きく増えて大主体に0.6ト、タチウオが前週並みの0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが前週並みの8.2ト、タチウオが増えて4.6ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが前週からさらに増えて2.4ト、ゴマサバも増えて1.0ト水揚げされた。

底びき網は、ハモが7.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の漁獲量は、カツオ船の入港の影響で増えた。

釣りでは、まぐろ類が大きく増えて2.3ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが前週並みの0.7ト水揚げされた。表にはないが、かさご類の水揚げも増えている。

小型定置網では、マイワシが前週並みの3.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	58	シラス	25,375	438		↘
	釣り	33	イサキ	597	18		↗↗
	釣り	36	タチウオ	235	7	特大主体	→
	延縄	78	ハモ	8,155	105	中主体	→
	延縄	105	タチウオ	4,579	44	特大主体	↗
	延縄	25	ゴマサバ	272	11	大主体	↗↗
	小型定置網	28	イサキ	2,362	84	大主体	↗↗
	小型定置網	18	ゴマサバ	1,004	56	大主体	↗↗
	小型定置網	25	マアジ	319	13	小小主体	→
	小型定置網	18	アイゴ	234	13		→
	底びき網	66	ハモ	7,235	110	中主体	↗
底びき網	41	えそ類	261	6		↗↗	
海部沿岸	釣り	251	まぐろ類	2,312	9		↗↗
	延縄	39	アカムツ	678	17		→
	小型定置網	16	マイワシ	3,057	191		→
	小型定置網	19	ウルメイワシ	280	15		→

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%～200%:↗、80%～120%:→、50%～80%:↘、前週比50%未満:↘↘